

◆第8回全国中学生弓道大会

JOCジュニアオリンピックカップ

香芝中学校 (女子団体)

優勝・技能優秀校

天理南中学校 (男子団体) も5位入賞 技能優秀



開催日：8月20日(土)～21日(日)

場所：全日本弓道連盟中央道場・明治神宮至誠館弓道場

主催：財団法人 全日本弓道連盟

主管：東京都弓道連盟

今年は41都道府県から男子36団体、男子個人41名、女子40団体、女子個人42名の選手が参加した。前日の公開練習では、非常に強い雨の中会場入り、生徒の体調や弓具のコンディションは決して良くはない状態での練習だった。試合当日も夏とは思えない気温の低さで、特に2日目は、雨も降り肌寒さを感じる程だった。そんな中、女子団体の部で香芝中が奈良県女子としては初めて優勝、男子団体の部で天理南中が5位入賞を果たした。また、奈良県勢としては初めて**技能優秀校**に、それも男女とも選ばれた。女子個人の部でも**橿原中の熊木亜純選手が5位入賞**を果たし、奈良県勢の活躍が際立った大会となった。(中体連 藤原)

(関連記事 後述)

◆平成23年度 全日・国体・ねりんピック壮行射会

9月4日(日) 橿原公苑弓道場

トーナメント射会 結果

1位：新子 修平、山口 亮二、矢野 有吾

(国体 成年男子チーム) … 決勝にて12射皆中

2位：西田 ゆり、松澤 和実、松村 由喜子



No. 27

8月21日、明石で国体近畿ブロック予選が行われていたときに、全国中学生大会で、香芝中学が女子団体で優勝、天理南中学が男子団体で5位に入賞の報が入りました。

その後、男女とも技能優秀校に選ばれたとの報告を受け、驚きともに、関係各位の努力にあらためて感謝するしだいです。

中高一貫指導からアンダー15での、中学校の顧問の先生方、指導部・強化部のスタッフの協力の成果がここに現れたと思います。

この良い関係を今後も続けていきたいと思えます。よろしくお願いたします。

奈良県弓道連盟 会長 吉本清信

第235回 地連審査の結果

8月28日橿原公苑弓道場にて地連審査を実施しました。結果は、2級2名、1級24名、初段93名、式段7名、参段3名、**四段は橿原支部の上地洋子さんが合格**されました。合格された皆さんおめでとうございます。

審査後の審査員からは、

- ①身長伸びに合わせた弓の使用が望ましいこと。
- ②足踏みの狭い人が見られること。
- ③学科問題に対して十分な解答になっていない人が複数あり残念であること。また、弓道語句の理解できていない解答がありました。「口割」を「口われ」と言ったり、「行射」を「うつ」と表現したり、弓の「強さ」を「重い」等の表現が使われています。
- ④学科の解答内容が乏しいです。教本に則った学習を心がけて下さい。

各支部の指導者の皆さんよろしくお願いたします。

(審査部 土谷)

### ◆ 第66回国民体育大会近畿ブロック大会

平成23年 8月21日(日) 兵庫県立弓道場

少年男子：総合2位（遠的1位、近的2位）本大会出場

成年男子：総合1位（遠的2位、近的1位）本大会出場

少年女子：総合3位（遠的5位、近的2位）

成年女子：総合5位（遠的4位、近的4位）



### <国体近畿ブロック大会報告（少年）>

8月21日に国体近畿ブロック大会が兵庫県明石市の兵庫県立弓道場でおこなわれました。少年チームは男子大西監督、川崎コーチ、女子監督澤、高塚コーチのもと、猛暑の中練習を積みました。今年は岩手インターハイの日程の関係で、全員が揃って練習を開始してから2週間足らずで本番を迎えるという強化には厳しい日程でした。

男子は、大前本川（高田商3年）、中立田中（高田商2年）、大落山本（橿原高3年）で臨みました。山本は昨年に続いての大落での出場です。女子は、大前南方（高田商2年）、中立中家（高田商3年）、大落平田（橿原3年）のチームで大会に臨みました。午前の遠的は、男子が1回目9中と、2回目次第で上位がねらえる位置につけました。その2回目は、本川と田中が皆中し11中、合計20中で1位と狙い通りの位置につけました。女子は緊張からか1回目6中と苦しいスタートとなりました。続く2回目は全員が4本目を外してしまい8中、合計14中となり、5位で遠的を終えました。

午後からの近的では、男子が1回目田中、山本が皆中し11中と素晴らしいスタートとなりました。2回目は的中を落とし6中でしたが、近的2位となり、総合で兵庫と1位で並びました。決定戦で兵庫に敗れ、惜しくも2位となりましたが、見事本大会出場を決めました。

一方の女子は、大逆転をかけて臨みましたが、1回目が6中とふるわず、苦しくなりました。2回目は、平田が皆中し、10中と意地を見せました。近的は京都と並んで見事1位でしたが、総合では3位と惜しくも本大会出場を逃しました。↗

結果としては、男女で明暗が分かれてきましたが、女子も体調も揃い、見事な射を見せてくれました。課題としていた4本目が遠的的中でなく、あと1本というところで本大会を逃したことは大変残念ですが、3人の2年生がこの悔しさを来年につなげてくれることと思います。



今年も大変暑い夏で、特に橿原のテニスコートでの遠的練習は選手たちにとって相当厳しいものであったはずで

すが、誰一人として一日も練習を休むことなく、ブロック大会に臨んでくれました。また、男女ともチームワークがよく、男子控え選手の前川（高田商3年）、横井（平城3年）、女子控え選手の中西（五條2年）、岡本（橿原2年）も練習ではよきライバルとして競い合い、大会ではチームをしっかりサポートしてくれました。10月に行われる山口国体では、4年前の秋田国体（男子遠的2位、女子近的4位）、2年前の新潟国体（女子遠的2位）、昨年の千葉国体（女子遠的2位）の成績を超えるよう頑張っていきたいと思います。

最後になりましたが、少年チームをご指導下さった方々、遠方にもかかわらず応援に駆けつけて下さった方々に心より感謝申し上げます。（文責 澤）

### ■ 奈良県女子講習会

7月10日、橿原公苑弓道場にて開催されました。（参加者47名）基本動作、入退場、櫛さばきと、毎年繰り返し教えていただくことですが、自分の修練不足に気づき基本体の大切さを改めて心にしみこませる講習会となりました。また今年は講師の先生による一ツ的の模範射礼を見せていただく機会があり、深田主任講師の説明も合わせて、受講生全員が見逃すまい、聞き逃すまいの気持ちで集中しました。毎年暑い時期の講習会となり、正直つらい面もありますが、各人精一杯がんばろうと思いに工夫を凝らすアイデア交換の場ともなっています。一番大変なのは講師の先生方ですが、最後までご指導くださいました講師の深田先生、吉岡先生、明瀬先生、松村先生、本当にありがとうございました。

（女子部 辰巳 好美）

<全国中学生弓道大会 続き>

**香芝中女子団体チームの報告**

8月19日、午前10時半頃代々木駅に奈良県チーム（天理南中男子3名、香芝中女子3名、橿原中1名、顧問4名）が到着。ものすごい豪雨の中、荷物、制服、靴もずぶ濡れになりながら、何とか会場である全弓連中央道場にたどり着きました。まず弓具をドライバーで乾かすところから始め、中央道場と至誠館弓道場の両会場で練習時間ぎりぎりまで最終調整を行いました。途中、山口県の中学校から奈良県女子団体チームの入場するところを、ビデオを撮らせて欲しいとお願いされるということがあり、選手たちは、日頃からの練習が他県からも評価されたことで自信を持つことができました。

翌日、大会初日、雨は止みましたが、湿度は高く蒸し暑さがありました。予選1回目、会場は中央道場。大前の山崎が皆中を出したものの、後ろ2人が続かず5中。辰己、山本はさすがに緊張があったのか、堅さが目立ちました。次の立に向けて巻藁で調整を行い、予選2回目、会場は替わって至誠館弓道場。予選クリアラインとして、半矢は欲しいところだったので、7中を目標に立に臨みました。しかし結果はまたもや5中、計10中。立順が早かった為、他のチームの結果待ちとなり、同中競射になることを想定して、先の立からの修正点と、とにかく気持ちを切らさないこと、そして気持ちで負けないことをそれぞれ確認しました。結果的には、11位で予選を通過。予選で自分たちの持てる力の半分も出せずに終えたので、もう一度チャンスがもたらされた喜びと、「次こそは！」という強い気持ちが湧いてくるのを選手を見ていて感じました。非常に良い雰囲気で大大会初日を終えることができました。

大会2日目、朝から雨が降り、気温は夏とは思えない程の低さで第三控えに入ると肌寒さを感じる位で、想定外の気候に戸惑いました。この日の会場はすべて中央道場で広い射場を全面使い、トーナメント戦を行いました。初戦、2回戦と何とか勝ち上がり、準決勝を迎えました。準決勝の相手は宮崎県の妻中学校。相手校は前の立で10中を出したチーム。選手はそのことを意識していた様子でしたが、私は不思議と負ける気がしませんでした。「大丈夫。勝てる。」と選手たちに声をかけ、立に臨みました。結果は1中差で勝利。ここへ来て、なかなかエンジンのかからなかった辰己、山本にもの中が出始めました。そして決勝、香芝中は準決勝で第1試合だったため、控えて次の対戦相手を待つという状況から気持ちの整理ができ、落ち着くことができました。そして、この間の時間で選手3人にはこの試合で言い続けてきたことと決勝における心構えとして「今、こうやって全国大会に出させてもらっているということに感謝しよう」

「いろいろな人たちの支えがあってここに立っているということ、ありがたいと思う。」「感謝の気持ちを込めて、応援に来て頂いている人たちに最高のパフォーマンスをしよう！」そう伝えました。そして、神奈川県慶應湘南藤沢中との対戦が決まりました。相手校は過去に女子団体の部で2回優勝している強豪で、このトーナメント戦も同中競射になりながらも勝ち上がってきたチームでした。しかし、選手たちは臆することなく堂々と入場し、後ろから監督として介添えしていた私も頼もしさを覚えるほどでした。結果は7中対6中で、香芝中学校が奈良県では初の女子団体の部で全国制覇。トーナメント戦はすべて1中差で、監督としてこれ以上ハラハラしたことはありませんでしたが、それだけにこの勝利は選手もそうですが私もとても嬉しく、試合がすべて終わった後、技能優秀校に香芝中学校の名前が放送で発表されたときは、この選手たちの監督としてやってこられて良かったと心から思いました。ここに至るまで、指導をして頂いたり、練習に付き合ってもらった、奈良県弓道連盟指導部の先生方を始め、天理大学、高田商高校、畝傍高校の先輩方、その他中学生の皆さん、応援して頂いていた皆様、本当にありがとうございました。また、一緒に全国大会に向けて練習をしてきた天理南男子団体チームと橿原中学の熊木選手、また顧問の谷先生、和多田先生、澤井先生、共に合同練習をしていく中で暑い中大変なときもありましたが楽しかったです。ありがとうございました。（香芝中 監督 藤原）

**奈良県勢の戦いの記録は次の通り**

<予選>

男子個人：佐藤宏樹（天理南）8射4中【予選不通過】

女子個人：熊木亜純（橿原中）8射6中【予選通過】

男子団体 天理南中 【予選通過16チーム中、7位通過】  
（脇田政宏、佐藤宏樹、岡山慎之介）

女子団体 香芝中 【予選通過16チーム中、11位通過】  
（山崎遥、辰己真有加、山本奈実）

<決勝>

女子個人（射詰め）：熊木亜純 × →遠近競射の結果 5位  
男子団体

1回戦：天理南中 8中 対 増穂中（山梨） 6中

2回戦：天理南中 6中 対 雁が音中（愛知） 7中

女子団体

1回戦：香芝中 6中 対 福平中（鹿児島） 5中

2回戦：香芝中 5中 対 豊川中部中（愛知） 4中

準決勝戦：香芝中 7中 対 妻中（宮崎） 6中

決勝戦：香芝中 7中 対 藤原中（神奈川） 6中